

熊本県監査委員公告第13号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第1項及び第4項の規定により令和3年（2021年）4月20日から4月28日までの間に実施した定期監査結果に関する報告を決定したので、同条第9項の規定により、次のとおり公表する。

令和3年（2021年）8月6日

熊本県監査委員	福島誠治
同	竹中潮
同	内野幸喜
同	高野洋介

1 監査対象機関

部局名	機関名
健康福祉部	清水が丘学園
環境生活部	環境センター
商工労働部	高等技術専門校
土木部	三角港管理事務所、水俣港管理事務所、熊本港管理事務所
教育委員会	美術館

2 監査対象期間 令和2年度（2020年度）

3 監査の主眼

財務及び行政に関する事務の執行について、熊本県監査基準に準拠し、合規性、正確性をはじめ経済性、効率性及び有効性の観点の主眼として監査を実施した。特に財務に関しては、不適正経理再発防止策の実効性を検証し、行政に関しては、組織の目標管理、主な事務事業の効果及び事務の的確・適正な執行の確保に関する制度の整備・運用状況等について実施した。

4 監査結果

財務に関する事務の執行及び行政に関する事務の執行については、おおむね適正と認められた。

なお、監査の際に確認された課題のうち、指摘事項、意見事項及び勧告事項は次のとおりである。

(1) 指摘事項

監査対象機関		監査の結果
部局名	機関名	
健康福祉部	清水が丘学園	<p>(報酬の支払事務について)</p> <p>会計年度任用職員の報酬の支払事務について、次の課題がある。</p> <p>(1) 令和2年度(2020年度)の夜間勤務手当について、手当の認定漏れにより支給漏れが発生し、令和3年度(2021年度)に追給処理を行っている。</p> <p>(2) 令和2年度(2020年度)の日額報酬について、出退勤状況の確認を怠っていたことにより支給漏れが発生し、令和3年度(2021年度)に追給処理を行っている。</p> <p>熊本県会計年度任用職員の給与等に関する条例等に基づき、適正に事務処理を行い、組織的なチェックを行うこと。</p>
土木部	熊本港管理事務所	<p>(委託契約の事務処理について)</p> <p>熊本港の漁船溜り入口の警備委託について、次の課題がある。</p> <p>予定価格が10万円以下の単独随意契約による短期間での委託を、年間を通じて多数回にわたり繰り返ししており、単独随意契約とする根拠や委託期間を短く設定した合理的理由が明らかでない。(全体を合計すると約180万円の委託となっている。)</p> <p>業務委託契約にあたっては、契約内容や委託期間設定の理由を明確にしたうえで、本来あるべき契約方法を検討し、適正な事務処理を行うこと。</p>

〈参考〉

「指摘事項」とは、以下のような事柄に該当し、改善が必要とされる課題である。

- (1) 法令、条例、規則又は通知・通達に違反し、事務の執行が不適正となっているもの
- (2) 未収金解消対策が的確に講じられていないもの
- (3) 予算の執行又は財産管理等において、適正を欠くもの
- (4) 故意又は重大な過失により、不経済や損害を生じさせたもの
- (5) 経済性、有効性又は効率性が著しく低いもの
- (6) 事務・事業の執行に当たり、是正又は改善が必要であると認められるもの
- (7) 前年度監査において注意事項とされていた事項で是正又は改善がされていないもの

(2) 意見事項

なし

〈参考〉

「意見事項」とは、組織及び運営の合理化に資するため、監査の結果に関する報告に付記するものである。

(3) 勧告事項
なし

〈参考〉

「勧告事項」とは、監査の結果のうち特に措置を講ずる必要があると認めるものである。